

To Club Presidents and Secretaries
in district 2710 (Copy to Members)

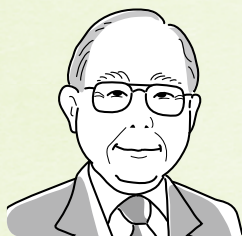


Governor's Monthly Letter

from Seiji Onoki

「増強」のトリレンマ打開の基本

Governor's Message



国際ロータリー第2710地区
2012～2013年度ガバナー

大木 清二

GOVERNOR : Seiji Onoki

会長・幹事の皆さん 今日。

私のガバナー・メッセージはこんな調子で、須らくソフトムードで書いてみる積りです。その意図は兎に角この月信を手にする全ての会員の皆さんに、必ず読んで頂くことを願ってのことです。意のあるところをご理解下されれば幸いです。

さて、今月は「会員増強月間」ですから、ロータリー運動推進の根幹ともいえるべきこの強調事項に就いて、少々私の思いを述べてみます。手続要覧によると「会員増強」には、新会員の勧誘、現会員の維持、新クラブの結成という3つの要素があると記述されていますが、かつてと違って“MEMBERSHIP DEVELOPMENT”で増強と拡大の全てを包含しているようです。この3つの要素のどれを取っても現状は円滑に進んでいるとは言えず、今のロータリーが抱える悩みがここにあるのです。増強における3つのジレンマ(トリレンマ)がそれぞれです。

ロータリーは運動体ですから活力が無ければ衰退します。活力は運動体を構成する分子がその源ですが、分子の数が多ければ良いというものではなく結局は分子の質が問われてくるのは当然でしょう。何ごとにも質と量の二面性がある、質が悪く存在は次第に希薄となり量が少いと力の減退を招きます。ロータリー運動を支えるの

はクラブであり、クラブはロータリーのプログラムを推進しロータリーの綱領を実践する媒体でありますから、それに相応しいクラブと言え質の高いロータリアンを擁することが絶対条件となります。そうでないと地域社会から信頼もされなければ存在すら認められなくなります。

運動体としての力は「質×量」で示され、質が高まれば量が増え逆に質が低下すると量も減るといった相関関係にありますから、理想論は結局「質」も「量」もということになります。我が国におけるロータリーの先達の一人である直木一太郎PGは、かつて量を徒に追うことなく良質の原石を探し出して磨きをかけることに注力すべしと一石を投げられましたが、その基本理念が良質人材を峻別することにあった一業種一会員制が、なおざりにされている昨今の風潮に、私はいささか慨嘆に耐えないものを覚えます。質も量もとは言え、私は質の強化こそがトリレンマ解決の基本だと確信しています。入会して3年未満会員の退会率が高いのは、ロータリアンになる為のフォローが殆ど出ていない為、ロータリーの何たるかが分らず結果的には入会目的すら把握出来ないまま、居心地が悪くなって退会するケースが多いようです。これでは折角の入会勧誘の努力が水泡に帰すだけでなく、ロータリーを知らない儘の退会者から発せられるマイナスイメージが、地域社会に良い影響を与える訳がありません。

マックローリンRI元会長(1960～61年度)は彼のテーマで、「あなたはロータリーです」と喝破していますが、自らが「ロータリーを知りたいなら私を見よ」と高言出来るロータリアンが増えるならば、増強はやがて古くて古い問題になるでしょう。重ねて申しますとロータリーを知悉しない者が勧誘しても説得力はないのですから先ず既会員の質の向上に努め、次いで、鉄は熱い内に打ての格言通り新入会者の指導教育にクラブが砕心すれば、必ずやこの循環はスムーズになり、正に質が量を呼ぶのであります。

◆ ガバナーメッセージ P1	◆ 会員組織部門 P4	◆ 会員増強セミナー出席報告 P8
◆ ボール・ハリス語録 P2	◆ 広報部門 P5	◆ 自動定期寄付のお願い P9
◆ カウンセラーメッセージ P2	◆ 奉仕プロジェクト部門① P6	◆ Topics P9
◆ 地区協議会特集	◆ 奉仕プロジェクト部門② P6	◆ お詫びと訂正 P9
・ 地区協議会を終えて P3	◆ ロータリー財団部門 P7	◆ 地区内 RC の会員増減・出席率 P10
・ 会長・幹事部門 P3	◆ 米山記念奨学会部門 P7	◆ 新入会員紹介・物故者への哀悼 P11
・ クラブ運営部門 P4	◆ 「ロータリーの友」の報告 P8	◆ 文庫通信 P12





ポール・ハリス語録

Collection of Paul P. Harris's Aphorisms



ロータリーは、適切な方法が考え出されたという事実だけで、大きくなっていったのではないのです。拡大しようという、たゆみない努力があったからこそ、ロータリーは世界的な影響力をもつようになったからです。

【写真】
最初のロータリアン。左から、シルベスター・シール、ポール・ハリス（本を指している）、ハイラム E. ショーリー、ガスターバス H. ローア。

会員増強及び拡大月間に寄せて

Counsellor's Message

地区会員組織委員会 カウンセラー 松本 茂太郎



8月は、会員増強及び拡大月間です。

皆様方のご存じだと思いますが、当地区には長期計画委員会という委員会があります。この委員会では、重要課題として「会員維持・増強」に重点を置き、主要目標を、会員減少に歯止めをし、3500名をめざすといっています。この会員数を地区の会員増加の目標にし、各クラブは会員増加の目標を立てていかなければいけません。

大之木ガバナーは、地区の会員増強・維持の目標として、3年計画で純増3%（今後3年間毎年）、とされています。

そして、田中作次R I会長は、会長賞の中で、クラブの強化と言う項目があります。その追加の活動項目の中で、クラブが新会員にとって魅力的な存在となり、会員を維持する為の画期的アプローチをとることによって、7月1日から3月1日までの間に少なくとも1名純増させると言う項目があります。そして又、退会の原因の分析をし、会員維持率を85%に維持するための行動計画を立てる。又、クラ

ブに十分に反映されていない人口層（性別、年齢、職業、民族など）の新入会員を少なくとも2名勧誘することによって、会員基盤を幅広くする。そして、クラブとかかわりのある学友との連絡やつながりを築く為のプログラムを開始する、または40歳以下のロータリー・プログラムの元参加者や財団学友をすくなくとも1名入会させる。とされています。

ロータリークラブが成果を上げ、活力を保ち続けるには、綿密な会員増強計画が必要とされます。ビジネスのリーダー的役職についておられる女性や社会奉仕で活躍されている女性をターゲットに、又、ロータリーに十分に反映されていない層に若年層があります。そして、会員増強委員会では、ロータリー情報の強化（新会員・在籍会員継続研修）を掲げられておられます。また、ロータリー財団の学友を入会させたり、会員基盤の多様性を増す（職業、性別、年齢など）があります。そして又、職業分類に照らして勧誘することです。会員の勧誘と維持の方法は、クラブ又、地域によって異なると思います。各クラブで会員増強の進め方、退会防止策について、等の項目で協議をしていただきたいと思います。

2012-13年度ロータリー世界平和フォーラム

広島（日本）平和はあなたから始まる

2013年5月17日・18日

私たち一人ひとりが日々の生活や地域社会での活動で平和を推進する方法を考察します。未来志向のこの会議では、一人ひとりが今後（何日、また何年にもわたり）どう貢献していけるかを、参加者に問いかけます。



《地区協議会特集》

2012-13年度地区協議会 地区協議会を終えて

Report of District Conference

ガバナー 大之木 精二



5月20日、担当年度前の一つの山場である地区協議会がお蔭様で無事終了しました。例年通り広島国際会議場で開催されましたが、全体会議は幸運にもフェニックスホールが使用出来、8分科会も無理のない会場分けでゆったりとした雰囲気の中所期のプログラムを順調に消化し終えたことは、何よりのことと感謝しています。

第2680地区パストガバナー安平和彦氏をお招きしての、演題「ロータリーの職業奉仕と日本の伝統的実業論理」による基調講演は、周到なご準備と分かり易い語り口とが相俟って、職業奉仕の真髄に向けて聴講者全員を誘うに十分なものでありました。当年度の主要プロジェクトである「職業奉仕を強調したロータリーの認知度向上」推進の前哨にふさわしい、格調の高いプログラムであったとの評価に、私は得も言われぬ喜びを覚えています。正に今地区協

の白眉と言えるであらう。

毎年のごとく850名余の会員が参集する大型会合ですから主管者の責任は誠に大きく、もし相応の成果を挙げ得なければ早々に鼎の軽重を問われることになる為、緊張感はかなりのものでありました。

P E T SでもR Iテーマや会長強調事項及びガバナー信条を説明していますので、この度は視点を変えたスピーチにしてみました。重複した内容でアピールした方が効果としてはよかったのではないかと反省もあります。

各クラブの事業計画立案等に資する為にも、ガバナー信条、地区運営方針等を明らかにする地区協は4月末迄に開催するのが妥当ではないかと思いましたが、限られた会場の予約だけは当方のままにならず思いは複雑です。改めて関係者皆様のご協力に対し、深甚なる感謝の意を表します。

2012-13年度地区協議会 分科会報告 会長・幹事部門

Report of District Conference

代表幹事 松田 修典



田村泰三ガバナーの点鐘で始まった合同本会議に次いで行われた分科会の、会長・幹事部門の司会進行を務めましたのでその報告をさせていただきます。

先ず、西村 栄時パストガバナーが「国際ロータリー第2710地区 長期計画について」の講演をされました。地区長期計画委員会の目指す方向として、会員意識を高め、クラブを活性化し、即ち「会員組織の基盤を強化する」の説明に始まり、しっかりと誇りある組織として次代に引き継ぐと。又、ロータリーの真髄、超我の奉仕、職業奉仕の精神、職業倫理を大切にする組織を、例会を重視した活力ある温かいクラブ作りを、ロータリーにルネッサンスをと話を進められ、地区内74クラブの命運は会長・幹事の皆さんによって決まると締めくくられました。

続いて、福田 信二さん（宇部RC）、河岡 啓太郎さん（柳井RC）、中井 克洋さん（廿日市RC）、村上 学さん（福山北RC）の4会長エレクトによる「地区長期計画とクラブ事業計画の関連性」についての意見発表がありました。皆さん、クラブ運営にける熱い熱意と意気込みが感じられ素晴らしいものでした。

引続き大之木 精二ガバナーエレクトをコーディネーターとして意見交換がありました。興味ある意見が続き、充実した時間を持つことができましたが、もう少し時間を掛けた意見交換があればよかったかとも思っております。

尚、この分科会は会長幹事部門の他にクラブ管理運営、広報、会員組織、奉仕プロジェクト①②、ロータリー財団、米山記念奨学会部門と分かれて研修を行いました。それぞれの部門については各委員長さんに報告をしていただきます。



2012-13 年度地区協議会 分科会報告 クラブ管理運営委員会

クラブ管理運営委員会 委員長 志々田 幸治

テーマ：「各クラブの
ソースを掘り起こせ!!!」
(例会運営の刷新について)

うに依頼している。②老人ホームでの例会開催
(車いすを送った経緯がある) ③新年互例会の
開催、役所 JA・商工業者 RC の 4 者で 20 年
近く開催している。会員増強にも繋がる可能性
もある。

基調講演 田村泰三カウンセラーより

クラブ管理運営委員会の担当者の役割についてご
説明いただき、効率的運営を行う上で CLP などが
ある。クラブの会則・細則と手続き要覧をあわせて
確認すること

事例発表

1. 村岡 富士夫 G 1 (油谷湾)：①会員研修特にガ
バナーの方針を重視、ロータリーの基本を勉強
する。②家族・会員の絆を深める。地域内の施
設の運営研修(知的障害者施設等) ③中学生を
集めての進路指導開催
2. 今澄 昭雄 G 3 (防府北)：①席順：カード抽選
により席を決めている。②女性の卓話を企画し
たところ、好評であった。③線量計を被災地に
送ったことを例会で報告
3. 三宅 洋子 G 8 (呉南)：①8 名が RLI を受講
し RLI 方式の例会を開催している。問題点を
会員が共有することが重要 活性化した例会と
なった。②新会員が増えたので会員相互の話し
合いを通じて友好を深めている。③未来計画委
員会を設置した。海外支援活動を行っている。
4. 片山 義明 G 12 (吉舎)：①全会員による卓話
開催。生い立ちから考え方まで話してもらうよ

意見交換(自由)

- ・例会時間の件 開始から終了まで60 分のクラブが
大方でした。呉東RCでは外部講師をお招きする
場合、食事を15 分、講師の時間を45分取る。
長門RC 例会は 12:30 ～ 13:30。12 時から食事を可
能とし、食事の時間に会員同士が話しが来ている。
- ・会長の挨拶 ロータリーの話を中心に、会員の
要望も取り入れている。
- ・例会の席順 誕生日 干支 自由 等
- ・呉 RC グリーンテーブル ピアノ生演奏
バイキング(月 1 回)
- ・下関東 RC 奥さん参加の例会 「道」をテーマに
1 年やった。最後が紳士道など。
- ・インターネット ロータリーの任意のクラブがあ
る。(JRIC) プログラム・週報等の情報を問いか
けると色々な情報が帰ってくる。

講評 今日のように、みんなの意見を寄せて、考え
方を深めることが大切 各クラブの皆さんの意見を
引き出すように運営されるのがいいのではないか。
(敬称略)



2012-13 年度地区協議会 分科会報告 会員組織部門

会員組織委員会 委員長 松浦 秀夫

ロータリークラブの会
員数の減少が続く中、会
員増強のための方策につ

いて、カウンセラーの松本茂太郎 PG(徳山 RC)から、
若手(45 歳以下)や女性、学友会員を獲得すること、
委員会システムでは委員長が 3 年間は関与すること
(次期委員長、現委員長、前委員長)、新クラブ形態

の検討、CLP、DLP の構築などについて講話を頂
きました。

住田佳樹ロータリー情報担当(呉 RC)がロータ
リー情報の提供に役立つ資料を説明し、見本の回覧
を行いました。入会 5 年までの新会員にロータリー
知識を提供するため、グループ合同会員研修セミ
ナーを山口、広島、福山の 3 ヶ所で開催することが

報告されました。

市川英助会員組織委員長(柳井西 RC)から、会
員増強に関するアンケート調査結果の概略が説明さ
れ、ロータリーバッジの着用、会員増強委員会委員
の名刺の活用、情報ネットワーク作りの必要性を述
べられました。

会員増強の事例報告として、大山康弘次年度クラ
ブ会員組織委員長(広島城南 RC)、國廣浩典同委員
長(徳山 RC)からそれぞれのクラブの抱える問題
点と、その克服についてのご苦勞をお話頂きました。



2012-13 年度地区協議会 分科会報告 広報部門

広報委員会 委員長 坂田 健治

基本方針に職業奉仕を
強調することで他の奉仕
団体とは異なることをア
ピールする事によってロータリーの公共イメージと
認知度を図る効果的な方法を検討します。

○ロータリーにおける広報の基本的な考え方

カウンセラー前田茂(三次) パストガバナー

(Ⅰ) ロータリーとは
ロータリーでは社会生活における成功と幸福は他人
に対する思いやりと他人を助けることにありとして
各自の職業を通じての奉仕の理想を目的としています。

(Ⅱ) ロータリーの綱領
ロータリーは職業倫理を高揚することを唯一の目的
としてあげた団体で、これを見失うとロータリーで
なくなるということを肝に銘じ、ロータリーの綱領
を正しく理解することが重要です。

(Ⅲ) 四つのテスト
自分自身の行動はこれに照らすように決め、人の為、
世の為に奉仕することによって得る利益と楽しさを
表したものであり、サービスにも五つの部門(クラ
ブ・職業・社会・国際・新世代奉仕)があります。
また自分や他人との職業上の相互関係も円満にして
共存共栄を促進させる努力を続ける、その為に話し
合い、クラブ例会には必ず出席してクラブ運営や相
互親睦を図るクラブ奉仕を推進していくのです。

(Ⅳ) 広報の基本
「ロータリーとは何か、何をしているのか」につい

昨年に続き、会員増強のためのネットワーク作り
について佐藤 豊国際ロータリー第 2740 地区クラ
ブ奉仕総括・会員増強委員長から取り組みをお話頂
きましたが、時間不足で駆け足になってしまい、会
員との討論時間も取れず、長崎からお越しいただい
たのに申し訳なく反省しております。

最後に松本カウンセラーから講評を頂き、分科会
を終了しました。参加された次年度会員増強委員会
委員長の皆様には、これらの情報を活用して頂き、
2012-13 年度の会員増につなげて頂ければ幸いです。

て直接人に知らせ、自分達のクラブが地域社会にお
いて存在を際立たせる力になるよう要請されていま
す。

○広報補助金 2011-2012 年度の事例発表

下原實(広島東)

一般の人々にロータリーについての情報を提供
し、地域社会のロータリー活動を広く告知し、認識・
理解・普及を徹底させることが目標です。テレビを
使い、中国放送 38 回、テレビ山口 38 回、15 秒の
CM(R 1 の「人類の為に活動します」パズル編を
編集し放映しました。申請の際の注意点、申請期日
なども含め詳細な説明がありました。

○IT 化の変遷による広報のあり方

廣實厚夫(柳井)

2010 年頃から 2012 年度にかけてホームページの
充実と活用について詳しい説明がありました。また、
フェイスブックとのリンクにより双方向性も持ち、
より速く、より身近に情報の共有化が図られ、開か
れたクラブ運営が到来しつつあります。

○ガバナー月信のあり方

田中利幸(呉)

基本方針を「ガバナーから会長・幹事への手紙と
位置づけ、手に取って読んでもらう月信」とし、各
クラブのコミュニケーション手段として各クラブの
会長に月信の紹介を行って頂きたい。そしてコスト
面への配慮で印刷物を原則 8 P 以内にし、ウェブと
併用し費用の圧縮をしていきたいとの事です。

(敬称略)



2012-13 年度地区協議会 分科会報告 *Report of District Conference* 奉仕プロジェクト部門①

地区奉仕プロジェクト委員会 委員長 島村 充

テーマと所要時間（分科会全体の持ち時間 80 分）

- 1 職業奉仕を強調したロータリーの認知度向上推進事業の取り組みについて 15 分
- 2 RIテーマに対するクラブの取り組みについて 15 分（武安紘二 2012-2013 年度ガバナー補佐）
- 3 社会奉仕部会からの問題提起 15 分（青山宏明 2012-2013 年度社会奉仕部会長）
- 4 意見交換 40 分余

分科会の目的は、各クラブを代表して来られた会員に RI とガバナーエレクトの方針を認識し、⇒クラブへ報告 ⇒ 次年度事業へ反映、という流れを創り出して頂くことにあります。進行役はそのことの達成に緊張しますが、後半の意見交換予定時間の 30 分という時間が瞬く間に過ぎ、上記のように延長となったのは当然の成り行きでした。フロアからの質問に南園パストガバナー、武安ガバナー補佐のお二人が熱い対応をされたのがその要因で、すべからず言葉も事業も情熱の衣を纏わねば看過する事象に過ぎません。もし意見が出なければ適宜指名し思いの丈を語って頂かねばとの小生の心づもりは無用となり、これはこれで安堵致しました。

ところで、本分科会のような連絡と確認のための会に初めて参加された諸氏は、現在の地区の熱意の有様を体験され、様々な感想を抱かれたことと思います。その最も集約された願いの最初の一つは、もっと早い時期にこうした会を開いて欲しいというものでしょうか。地区と各クラブの事業発案の共時性を深める為には特段の知恵が必要ですが、このことはガバナーエレクトも十分に認識されておられますので、近い将来には改善されるものと信じます。

尚、本分科会の内容でご不明の方がおられましたら奉仕プロジェクト委員長 島村まで（info@senchadou.com）ご連絡下さい。できうる限りの速さで返事を差し上げます。読了感謝。

◆◆◆ 本分科会参加 地区チーム協力者 ◆◆◆

奉仕プロジェクト部門①（職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕）
カウンセラー 元 RI 理事パストガバナー 南園義一（防府）
オブザーバー G 8
2012-13 年度ガバナー補佐 武安紘二（呉東）

職業奉仕部会 大塩俊（呉）
社会奉仕部会 山本修司（下関）、青山宏明（呉）
国際奉仕部会 八百谷俊昭（岩国西）、福田多喜二（呉）
（敬称略）



2012-13 年度地区協議会 分科会報告 *Report of District Conference* 奉仕プロジェクト部門②

新世代奉仕部会 上田 功

地区の新世代奉仕部会は、青少年交換、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者育成プログラム（RYLA）の事業を担当し、それぞれの委員会で対応しています。それらの事業を広く地区内のクラブの皆様を知っていただけるように、今回の部門を設定しました。青少年交換・IA・RAに関わっていないクラブにとりましては、地区は何をしているのだろうと思われることでしょう。それぞれ国際交流を行いながら青少年の意識向上、指導力の向上が計られ有意義な活動がなされています。この事業の良さを理解していただき、各クラブにおかれましては青少年

交換学生の申し込み・受け入れ、IA,RA の創設等、活動の輪を広げていただければと願い、積極的に情報提供と広報をしていきたいと考えています。当然それぞれの活動が活発になされ各クラブにとって魅力あるものとなるよう、地区の各委員会で運営等の助言をさせていただく努力をしてまいります。

各クラブの推薦する若者が参加することの出来るプログラムとして、RYLA と今年度広島で開催予定のロータリー世界平和フォーラムがあります。是非この二つの事業を活用していただき、各クラブの新世代の若者にロータリー精神を伝えていただければと、願っています。この事業が有意義な事業となるように、新世代部門として各メンバー一丸となっ

て取り組んでいく所存であります。RYLA につきましては、早い段階から広島廿日市ロータリークラブに開催をお引き受けいただき、参加者に来てよ

かったと言っていたいただけるよう、クラブ全体で運営に取り組んでいただいております。多くの参加をお待ちしています。



2012-13 年度地区協議会 分科会報告 *Report of District Conference* ロータリー財団部門

地区ロータリー財団委員会 委員長 藤井 清実

地区協議会におけるロータリー財団部門分科会の目的は、2013 年 7 月より始まる未来の夢計画の準備、そして意識の高揚を図る事だと考えます、大之木ガバナー年度は夢計画に変わる前の、大切な 1 年になります。

プログラムとしては、まず始めに 3 委員会の報告を行いました、財団奨学金学友部会の奥先委員長からはロータリー財団学友会名簿作りの為の各クラブへの調査依頼、財団情報推進部会の湯澤委員長からは各種寄付目標の依頼そしてロータリーカード加入促進依頼、人道的補助金部会の登委員長からは地区補助金申請の現状報告を中心に発表がありました、3 委員会からの依頼に対し各クラブの皆様には絶大なるご協力を宜しくお願い致します。

続いて、未来の夢計画が始まるまでに各クラブとして、済ませておかなければならないハードルに地区が実施する補助金管理セミナーの参加義務があります。このセミナーは開会本会議・セッション 1 プロジェクトの立案・セッション 2 補助金の申請とプロジェクトの実施・セッション 3 補助金の監督と報告・セッション 4 参加資格の認定・閉会本会議に分

かれており、全行程 5 時間半のセミナーとなります、地区協議会では開会本会議とセッション 1 の補助金管理セミナーを実施いたしました、今後の予定は残りのセッション 2・3・4 と閉会本会議のセミナーを、8 月 26 日実施される地区指導者育成セミナーで実施する予定でありますので、地区協議会のセミナーに参加された担当のロータリアンは必ず参加をお願い致します。

最後になりましたが、ロータリー財団が一世紀を終え、次の第二世紀に向け「未来の夢計画」が始まる事により、財団から地区やクラブに意思決定権が移ります、責任は増しますが活力あるクラブ運営の一助になる様、地区のロータリー財団委員会が各クラブのフォローをして参りますので、宜しくお願い致します。

（ロータリー財団の標語と使命）

標 語

世界で良いことをしよう

使 命

ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。



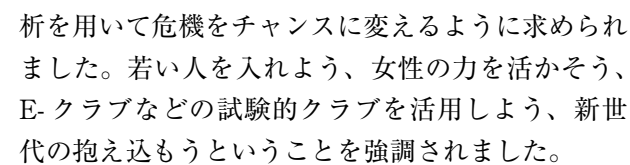
2012-13 年度地区協議会 分科会報告 *Report of District Conference* 米山記念奨学会部門

米山記念奨学会委員会 委員長 稲葉 周三

広島国際会議場（コスモス）において、カウンセラー仁田一也様（広島東南）・前年度委員長細田正躬様（岩国西）米山学友会顧問庄子佳良（広島北）各講師並びに分科会を開会し、最初にカウンセラー仁田一也様から、本年から公益財団法人として新たなスタートをきる事になった報告と厳しい財源と事業の現況をお話し頂いた。その中で 2013 年度奨学生数は 700 名になることが報告された。あらためて、米山記念奨学会の目的である「ロータリーの理想とする国際理解と親善

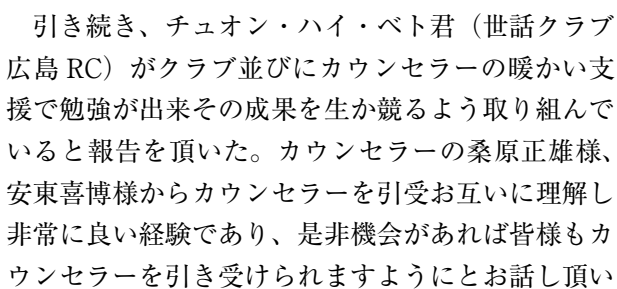
と平和に寄与すること」・母国と日本の良き架け橋になる奨学生への支援に今まで以上の協力のお願いを要請された。

ロータリー米山記念奨学会作成の「すばらしい贈り物」の DVD を上映し、皆様に少しでも事業の報告としご理解を深めて頂いた。続いて、ハウ コウイ君（世話クラブ 広島東南 RC）がパワーポイントを準備され、クラブ内並びに地区における報告と学業の進捗状況をわかりやすく話された。次年度もクラブ支援の奨学生として更に燃焼学分野の研究を進めていきたいと抱負を話された。



昼食後、マノイ氏の基調講演「RIおよびインドにおける地域計画について」を拝聴し、質疑応答の後各ゾーン別に別れて意見交換を行い、各地区の取り組みや問題を検討しました。意見交換の後、各ゾーンの代表から討議内容を発表して、マノイ氏を含めて全体的な討論を行いました。

セミナーでは直接使用しませんでした。が、会員増強維持3年計画 市川私案が資料に添付されていましたが、セミナーの纏めとして各地区、クラブでの会員増強資料に役立つと思います。



◇《各委員会より報告とお願い》◇

「ロータリーの友」の報告



大之本年度（2012-2013 年）に、ロータリーの友地区代表委員を拝命致しました田中でございます。皆さまどうぞ宜しくお願い致します。

先般、5月21日（月）に「ロータリーの友次期
地区代表委員オリエンテーション」がメルパルク
Tokyoで開催されました。

まず、ロータリーの友の理事、委員等の紹介があり、安平委員長の挨拶で始まりました。

オリエンテーションの主要テーマであります本年度の「ロータリーの友」誌の編集企画について、以下通り報告致します。

1. 会員の写真で表紙を構成
「私のとおきおきの写真」を募集し掲載。4月末に締め切り、審査の上8月より掲載して行きます。
2. 「言いたい 聞きたい」欄から、テーマを決め会員による意見発表コーナー「同論・異論」に移行
このコーナーが特定会員のみならず、より多くの会員の意見を掲載する為に移行するもの。
3. 「この人この仕事」を継続
個人の仕事を通してロータリアンとしての生き方、職業観等を伝えて行きます。

た。引き続き学友会顧問の庄子佳良様から奨学期間を終えた学友会のメンバーとしてお互いの交流の場が学友会であり、学友会会報を配布し理解を求めた。

最後に質疑応答までは行かなかったが、奨学生の出身国のバランスに関し質問を頂き、カウンセラー仁田一也様からお答え頂いた後、総評を持って分科会を終りました。

4. 大震災の復興の状況やロータリアンの支援等を取上げ復興の取り組みを紹介する「心は共に」は、6月末で終了しますが、特集として復興状況を「アート・ワーク」欄に掲載して行きます。
5. 「はじまる一歩」を継続
新会員の為に、初歩的なものから、難しいものまで用語解説を分かり易く掲載して行きます。
6. 「Rotary Moment（心に残るロータリー物語）」を新設
ロータリアンに、自身の経験したロータリーでの感動体験を紹介するコーナーを新設します。
7. 「ロータリー活動」（フォトコンテスト）を開催
2012年7月以降のロータリー活動の写真を募集し、その中から優秀作品を決定し、年度末に発表します。

以上が、本年度の主要な編集企画です。

席上、参加者から「ロータリーの友」誌を如何に読んでもらうか等活発な質問、意見交換がありました。

力不足ではございますが、地区内各ロータリークラブの活動やその他の情報収集に注力し、地区内情報を「ロータリーの友」誌に反映出来るよう努める所存ですので、どうぞ皆様のご協力を宜しくお願い致します。

国際ロータリー 第1・2・3ゾーン
会員増強・維持セミナー




 次年度のための国際ロータリー
 第1・2・3ゾーン会員増強・維持
 セミナーが平成24年3月19日に新宿のハイアット・
 リージェンシー東京で開催されました。前日が会長
 エレクト&地区チーム研修セミナー（PETS）でし
 たので忙しい日程となりましたが、大之木精二ガバ

ナーエレクトと出席しました。

第1ゾーンロータリーコーディネーター（RC）
桑原茂氏の司会でセミナーが始まりました。第3
ゾーン RC 井上暎夫氏から参加者の紹介があり、RI
理事エレクト松宮剛氏、RI 会員増強維持委員市川
伊三夫氏の挨拶の後、RI 会員増強維持委員会副委

員長 Dr. Manojkumard D. Desai(マノイ氏)から「みんなで知恵を出し合って減少傾向を好転し、会員増を目指しましょう。そのためにSWOT分析を行い、若年層、女性会員、E-クラブ、例会時間、会費について討論することが重要です。」と「RIの方針説明」がなされました。

続いて第2ゾーン RC 坂本俊雄氏からゾーンの会員増強維持の現状と resource などについて説明があり、「クラブ会員増強委員会の手引き」、「新会員の推薦はいかにするか」、「会員増強推進手引き」、「クラブ評価ツール」などの紹介がありました。活用をお勧めします。

午前の最後は、市川伊三夫氏から会員増強にはわれわれ自身が考え方を率先して変えることで、改革する必要があることを述べられました。SWOT 分

自動定期寄付のお願い



2012-13 年度は「奉仕を通じて平和を」が RI のテーマであります。

このテーマを支えるために、財団プログラムへの参加を通じた平和の促進、未来の夢計画の全地区導入に向けた準備、ポリオ撲滅活動の継続、そして財団への毎年の寄付をロータリアンに推奨することが大切となります。

ロータリー財団への支援を促進する効果的な方法として、自動定期寄付があります。この寄付方法では自分に合った寄付額と寄付頻度が設定出来、手続きにかかる手間が省けるだけでなく、安全な方法で自動的に寄付することが可能になります。又、自動

Topics

平成24年7月1日の『中国新聞』社会面に掲載されました。

ガバナーに大之木氏

広島、山口両県が活動エリアの国際ロータリー第2710地区のガバナーに1日、呉市の大之木精二氏(77)が就任する。任期は1年。同地区は74クラブ、約3300人の会員がいる。

大之木氏は1979年8月に呉RCC入会。92年から1年間、会長を務めた。慶応大卒。大之木タイモ相談役。呉市出身。

お詫び
と
訂正

2011-12 年度ガバナー月信 vol.13（最終号）P13「米山記念奨学会ご協力に感謝」の「米山功労者」の欄に誤植がございましたので、下記の通り訂正いたします。

（誤）広島西南 久保河内豊 →（正）広島東南 久保河内豊

（誤）広島西南 脇舩賢治 →（正）広島東南 脇舩賢治 （敬称略）

関係各位にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。



国際ロータリー第2710地区 2012-13年度 74RCの会員増減・出席率 2012年6月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当月		本年度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ1	長 門	4	92.42	85.16	29	32	4	6	3	3
	下 関	4	77.6	83.68	48	46	1	8	10	-2
	下関中央	4	86.2	85.9	30	27	5	1	4	-3
	下関東	4	80.18	80.6	45	45	0	6	6	0
	下関北	4	91.66	87.04	43	41	0	2	4	-2
	下関西	4	91.02	91.9	37	40	1	6	3	3
	油谷湾	4	100	100	14	12	0	1	3	-2
計		88.44	87.75	246	243	11	30	33	-3	
グループ2	萩	3	91.62	91.58	56	52	0	3	7	-4
	萩 東	3	98.61	97.84	25	24	0	1	2	-1
	美 祿	4	75	75.56	26	26	1	6	6	0
	小野田	4	81.92	82.31	47	42	0	1	6	-5
	宇 部	4	85.83	86.49	52	50	2	4	6	-2
	宇部東	4	79.66	74.35	22	19	3	2	5	-3
	宇部西	4	92.71	88.63	51	51	1	3	3	0
計		86.48	85.25	279	264	7	20	35	-15	
グループ3	防 府	3	87.01	89.63	59	53	0	2	8	-6
	防府北	3	84.05	85.29	20	19	1	2	3	-1
	防府南	3	86.46	87.46	29	32	7	6	3	3
	山 口	3	96.1	95.55	53	51	2	5	7	-2
	山口中央	4	100	91.75	9	7	2	0	2	-2
	山口県央	3	93.52	96.99	33	32	1	4	5	-1
	山口南	4	82.05	81.75	35	37	4	4	2	2
計		89.88	89.77	238	231	17	23	30	-7	
グループ4	光	3	87.64	89.8	49	47	0	2	4	-2
	周南西	4	100	100	40	42	3	5	3	2
	徳 山	4	92.5	96.66	41	44	1	9	6	3
	鶴せんトラ	4	88.34	90.39	28	30	1	3	1	2
	徳山東	4	96.6	97.5	49	51	0	4	2	2
計		93.02	94.87	207	214	5	23	16	7	
グループ5	岩 国	3	78.16	83.34	61	57	0	6	10	-4
	岩国中央	4	94.65	92.94	41	40	3	0	1	-1
	岩国西	5	85.49	86.03	59	58	2	4	5	-1
	柳井	4	100	99.61	28	31	2	7	4	3
	柳井西	4	98.21	98.13	29	29	2	2	2	0
計		91.3	92.01	218	215	9	19	22	-3	
グループ6	広 島	4	99.56	99.48	117	110	0	10	17	-7
	広島安芸	4	97.22	96.94	41	43	2	4	2	2
	広島安佐	4	89.77	90.35	20	22	1	3	1	2
	広島東	4	96.26	95.62	89	88	5	11	12	-1
	広島北	4	98.7	99.33	77	81	0	8	4	4
	広島陵北	4	96.16	97.29	39	38	0	1	2	-1
	大 竹	4	88.63	84.87	31	31	0	4	4	0
計		95.19	94.84	414	413	8	41	42	-1	

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当月		本年度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7	広島中央	4	100	99.86	58	57	7	6	7	-1
	広島廿日市	4	90.54	93.47	34	37	1	3	0	3
	広島城南	4	98.56	98.72	44	50	1	8	2	6
	広島南	5	98.34	98.67	86	86	0	7	7	0
	広島東南	4	100	100	89	85	8	11	15	-4
	広島西南	3	100	100	63	61	4	5	7	-2
	広島西	4	100	100	80	79	0	6	7	-1
計			98.21	98.67	454	455	21	46	45	1
グループ8	江田島	4	93.06	92.27	18	18	0	2	2	0
	東広島	4	100	97.76	32	29	2	0	3	-3
	東広島21	4	90.79	88.83	19	19	4	1	1	0
	呉	4	92.55	94.39	70	72	0	7	5	2
	呉 東	4	98.36	92.65	32	31	0	3	4	-1
	呉 南	3	98.41	90.73	48	53	4	6	1	5
	西 条	4	98.44	98.5	51	46	1	5	10	-5
計			95.94	93.59	270	268	11	24	26	-2
グループ9	広島空港	4	80	81.72	24	24	3	3	3	0
	因 島	4	89.58	85.27	26	24	1	1	3	-2
	三 原	4	93.57	90.81	64	63	2	6	7	-1
	尾 道	5	82.83	83.85	70	69	2	4	5	-1
	尾道東	4	88.51	88.2	56	54	1	0	2	-2
	瀬戸田	4	90	90.45	11	10	0	0	1	-1
	竹 原	4	90	91.74	35	33	4	2	4	-2
計			87.78	87.43	286	277	13	16	25	-9
グループ10	府 中	4	89.4	88.01	36	34	0	1	3	-2
	福 山	4	96.23	92.42	78	78	0	14	14	0
	福山東	4	90	90.1	51	48	0	3	6	-3
	福山丸之内	4	86.84	87.04	36	37	1	2	1	1
	鞆の浦	4	90.04	87.49	32	27	0	1	6	-5
計			90.5	89.01	233	224	1	21	30	-9
グループ11	福山赤坂	4	81.4	81.99	42	42	3	3	3	0
	福山北	4	98.44	97.84	46	48	0	3	1	2
	福山南	4	89.91	89.17	60	57	1	3	6	-3
	福山西	4	91.86	90.8	42	43	4	3	2	1
	松 永	4	88.85	90.15	43	45	1	3	1	2
計			90.09	89.99	233	235	9	15	13	2
グループ12	吉 舎	4	98.44	94.52	19	16	0	0	3	-3
	三 次	4	84.14	83.1	40	40	0	3	3	0
	三次中央	4	97.34	94.56	49	47	7	1	3	-2
	庄 原	4	97.97	91.25	38	36	4	2	4	-2
	東 城	4	74.99	77.84	19	19	1	2	2	0
計			90.58	88.25	165	158	12	8	15	-7
2710地区計			91.22	90.81	3243	3197	124	286	332	-46

新会員紹介

New Member Introduction



松川 貴志
下関RC
2012年6月11日
生命保険



大田 久司
小野田RC
2012年6月6日
報道



草野 倫好
宇部西RC
2012年7月3日
内科医



中林 洋二
広島RC
2012年6月12日
ホテル



中野 淳司
広島安芸RC
2012年5月15日
機械工具販売



酒井 慈玄
広島安芸RC
2012年5月15日
老人福祉



松岡 義幸
広島東RC
2012年6月6日
土木建築



杉山 浩一
広島北RC
2012年6月14日
損害保険



下斐 誠一郎
大竹RC
2012年6月12日
合成繊維製造



田中 純子
広島中央RC
2012年6月18日
医学研究



石田 照佳
広島中央RC
2012年6月4日
病院



荒木 康之
広島東南RC
2012年6月25日
病院・内科医



宮地 俊秀
広島東南RC
2012年6月25日
生命保険



馬越 和彦
広島東南RC
2012年6月25日
生命保険



石田 正雄
呉東RC
2012年6月20日
ソフトウェア開発業



石田 雄
呉東RC
2012年6月27日
雑貨販売



岡本 好彦
因島RC
2012年7月5日
天理教



出雲 智
三原RC
2012年6月26日
信用金庫



山田 正之
福山RC
2012年5月7日
証券業



仁科 浩
福山RC
2012年5月7日
調味料製造



永井 克征
福山RC
2012年5月7日
倉庫



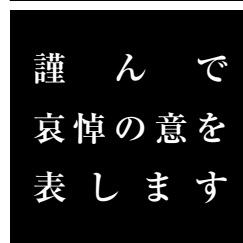
松重 弘志
福山RC
2012年5月11日
商業銀行



後藤 茂行
東城RC
2012年6月27日
セメント配布



名 前
所属クラブ
入会年月日
職業分類



広島城南RC
故 竹田 正信 殿
2012年6月12日ご逝去(享年71歳)
●ロータリー歴／2005-06
年度 副会長、2009-10 年度
S.A.A.、ポール・ハリス・
フェロー、米山功労者(6回)
●職業分類／住空間クリエー
ター



呉南RC
故 児玉 和司 殿
2012年6月26日ご逝去(享年61歳)
●ロータリー歴／2003-04 年度
会計、2011-12 年度 副幹事、五
大奉仕委員長・部会長、理事、委
員長、部会長歴任、11年間連続
100%出席者・米山功労者
●職業分類／専門学校



文庫通信
(298号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿

論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報より

あなたにとってロータリーとは何か 改訂版	菅野多利雄	[申込先：緑ヶ丘病院 FAX (022) 366-6243] 2012 23p
国際ロータリーの考え方	田村泰三	2012 1p (D.2710月信)
CLPアンケートについての考察	前田眞実	2010 4p (D.2720月信)
続まことのロータリアン	大澤徳平	2012 1p (D.2640月信)
クラブの「多様性」について	積 惟貞	2012 1p (D.2620月信)
P.F.ドラッカー5つの質問	国永秀男	2011 4p (D.2680地区大会記録誌)
中国『大国化』のなかでの日米関係	松尾文夫	2011 4p (D.2650地区大会記念誌)
国際社会における日本の立場	青山繁晴	2011 4p (D.2660地区大会記録)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



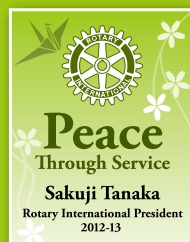
もっとロータリーを！心と行動に 呉 かたり合い 学びあい

2012～2013年度

国際ロータリー
第2710地区



地区大会



10月20日(土)・21日(日)



記念講演

カン サンジュン
姜 尚中氏

【主な著書】

『オリエンタリズムの彼方へー近代文化批判』、『マックス・ウェーバーと近代』、『ナショナリズムの克服』、『姜尚中の政治学入門』、『日朝関係の克服』、『在日』、『ニッポン・サバイバル』、『愛国の作法』、『悩む力』、『母～オモエ』など

【略歴】

1950年 熊本県熊本市生まれ
1974年 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業
1979年 早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了
1996年 ドイツ エアランゲン大学に留学の後、国際基督教大学准教授など
1998年 東京大学社会情報研究所助教授
2004年 東京大学社会情報研究所教授(組織統合に伴い)
東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授
2010年 東京大学大学院情報学環 現代韓国研究センター長

国際ロータリー第2710地区 地区大会事務局

〒737-8503 呉市中央3丁目8-21 大之木ダイモビル4F
TEL 0823-88-0087 FAX 0823-88-0116
E-mail: 2710taikai@daimo.jp